

18. 精神疾患患者の興奮と暴力について正しいものを2つ選んで下さい。
- a) 興奮状態の背景には被害妄想からくる脅えのある場合が多い。
  - b) 引きこもりと親への暴力があった患者は、入院後に興奮し暴力的となりやすい。
  - c) 興奮状態の激しい患者は、刺激しないようにそっとしておくのがよい。
  - d) 緊張病性の興奮は、説得によっておさまることが多い。
  - e) 躁病性興奮は、行動制限によって怒りを誘発されることがある。
19. 看護師が患者から受ける暴力への対処について、正しいものを2つ選んで下さい。
- a) 病状についての医学的診断を綿密に行い、最終的な対処方針については医師が判断する
  - b) 活動が制限されがちな閉鎖環境、スタッフの人員や技術の不足等の環境因子も暴力の誘因となる。
  - c) 患者だけでなくスタッフの安全も重要なので、隔離や身体拘束による早急な対処が求められる。
  - d) 患者への治療・援助内容は全て暴力の予防に関連していることから、スタッフへの専門的教育、事後の当該スタッフへの支援など、組織的な取り組みが責務である。
  - e) CVPPP(=包括的暴力防止システム)は、興奮し暴力的な行動を起こした患者を人手により抑止することに目的が限定された方法である。
20. 精神科医療における多職種チームアプローチについて、正しいものを2つ選んで下さい。
- a) 適切なリーダーシップの機能のため、各職種の権限を尊重することが大切である。
  - b) チーム内では、役割の明確化と公平な分業により、効率的な活動を行うのが望ましい。
  - c) 患者に適切な援助を提供するためには、定期的なミーティングは欠かせない。
  - d) 患者への援助に関する決定権についての担当者は特定せず、メンバーが統一された対応ができることが望ましい。
  - e) 多職種チームでは、一時的に専門職としてのアイデンティティが混乱する場合がある。

次頁あり